

皇太子ご成婚記念事業

「立山」
「植樹祭」

国士緑化推進加茂支部主催の「皇太子ご成婚記念植樹祭」が、去る十六日、本村神社の「成人の山」で、松野県知事、百瀬林務部長山田県森連会長をはじめ郡選出県議、各町村長および議長ら来賓二百余名を迎えて盛大に行われた。

この日、午前十一時十分して表彰された人々は二十二名の通り。

えをうけた知事一行は役場に小憩ののち、河田村長の今井金五

先導で現地に到着。十二時三十分開会、郡内林業功劳者、白川町七宗村加藤兼右二郎、三ツ石寛

八百津田 黒場悌吉郎
などののち、参会者全員が
成人の山現地で々ひのき

また、この植樹祭は、国
土緑化運動十周年と、戦後
二ヶ年が三度目

本村に知事を迎えたのは、
戦後これが三度目、呂四口と併せて行われたもので、

い意義ある行事であつた。十三年十一月の農村祭、翌年正月の農業功勞者祝賀会、二十四年十二月の中学校卒業式等

知事の来村

「植樹祭」スナップ

四年目で五千本植える

その右松野知事

ことしで四年目をむかえ
る本村の^ク成年記念植樹祭
は、去る十三日午前九時
より「成人の山」において
ことし新たに成人に達した
青年男女をはじめ、村内関
係者七十余名が参加、約五
三百五十本の記念植樹を行
い、成人の喜びをわかちあ
つた。

また、この「成人の山」は、全国でも最も新しいケースとして、各方面から注目を注びており、意味深き記念事業としても大きな期待がかけられている。

A black and white photograph showing a group of people gathered around a sign that reads "成年植樹祭" (Adult Tree Planting Festival). A man in the foreground is bending over, possibly planting a tree. The background shows more people and trees.

松野知事さんは、酒やたばこをのまないことは県民の間で知られているが、また、お茶やコーヒーもおきらい。当日お茶を出されて「白湯をくれ」と接待係を面喰らわせた。早朝の土砂降り雨は、関係者をガツカリさせたが、七時頃から回復、五月晴れで絶好の植樹日和りとなつた。来賓の某氏曰く、「今暁天祐の滋雨を仰ぎいままた神助の陽光に恵まれ云々」と伸々うまいことをおつしやる。

当日、新聞、ラジオ、テレビなど報道関係者に包围された松野知事さんは、森の字になぞらえて三本植えたが、OBOテレビ撮影班からボーズに注文つけられ、やりなおし、苦笑い……ハイ本番。

「これでいいのかネ」と会場が役場より七百米もへだつた山の中で、その準備や、飾付けに手こづつた関係者には後片付けが頭痛のたねだつたが、村内参會者全員の協力で、アツと云う間にかたづけられ、県の係員をしてさすがは々東白川々と感心させた。

映画教室

青年男女の重要な問題である結婚と農村社会の在り方について、当時者である青年男女はもちろん、その周囲の人たちに、考え方をもたらすために、結婚と云うあらすじをおつて、農村に日常ひそんでいる家庭部落等の問題を提起している作品です。

この映画では、そうした意圖を、た

★★★農村にひそむ問題を探る
★★★社会教育映画「村の花嫁」

★★★

かん／＼、清が「おれ、嫁なんかもわねえぞ」といふのに「われのおかげで、家中こんな恥をかゝされて村中顔かくして歩かなきやなんねえ。あたりまえなら」とつくにこつちで断つて、「話だぞ！」となる。